



生物多様性の保全を推進する里山づくり  
『太平洋工業グループ里山の森』

太平洋工業㈱

～6年目を迎えた地域一体となつての里山づくり～

当社グループは、2009年に岐阜県ならびに大垣市と「企業との協働による森林づくり」協定を締結し、里山づくり活動に取り組んでいます。

この活動は、地域の安全・安心で潤いある生活空間を守るための森林整備や、里山を利用した森林環境教育・自然体験を通して、子供たちに生物多様性や環境について学んでもらうことを目的に、地域一体となつて里山づくりを推進していくものです。

グループ会社の「養老カントリークラブ」が所有する土地（大垣市上石津町）の一部と、地元財産区が所有する土地を『太平洋工業グループ里山の森』として整備し、植樹やビオトープづくり、間伐材を利用した「きのこの菌うち体験」などを開催しています。過去11回のイベントには、社員や家族、地域の方など、述べ2,000人以上が参加し、現在までに1,335本の植樹を行っています。昨年には新たに遊歩道を設置し、森の中を散策・観察できるようになりました。

活動開始から6年目を迎え、植樹エリアの木は育ち、ビオトープにはイモリやアメンボなどが生息し、モリアオガエルの卵塊も見られます。また、みんなで拾ったどんぐりを育てた苗を植樹するなど、循環型社会の理解促進を図っています。

イベントの様子は当社ホームページで紹介しており、今後は里山の様子を伝える「里山だより」の発行や、「里山の生き物図鑑」の掲載などを予定しています。

【「太平洋里山の森」の取り組み】 <http://www.pacific-ind.co.jp/csr/satoyama/>

【太平洋工業ホームページ】 <http://www.pacific-ind.co.jp/>



イベント参加者の集合写真（2013年11月）



家族での植樹活動（どんぐりの植樹）



自分たちでつくったビオトープ



新設された遊歩道で森林散策